

社会福祉学科			社会福祉 専攻						
科目名: 心理学研究			担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	後期	専門科目	演習	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
自らの問題意識に基づいて、人間の行動や心理に関する研究仮説を立て、研究計画を立案し、研究を実践し、結果を報告書にまとめプレゼンテーションを行います。この実践を通して、生涯にわたって主体的に学び続ける「私」をつくります。					行動・心理、研究仮説、実験・調査、考察、論文作成、プレゼンテーション・パブリケーション				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 6. 7. 9. 10				
A 知識・理解力			心理学研究の基礎知識を身に付けている。						
B 専門的技術			人に関わる問題について、心理学的に研究する技術を習得している。						
C 論理的思考力			人間の行動や心理について科学的、客観的に理解できる。						
D 問題解決力			人間の行動や心理に関する問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。						
H コミュニケーション力			自ら学び、考え、得た情報を的確にまとめ、解りやすく人に説明できる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	30 %	実技試験:	%	その他:	20 %
特記事項: 研究への取り組み態度(20%)、得られた成果の論文報告(50%)、研究発表(30%)に基づいて成績評価を行う。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポートは第15回に行う。また研究発表については別途行う。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 研究の進行度に応じて、適宜フィードバックする。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①心理学研究の進め方、注意事項等についてのガイダンス。				特に指定しないが、研究なので、自らテーマ設定をし、資料収集し、データ収集し、考察し、論文を作成する	240				
②研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
③研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
④研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
⑤研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
⑥研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
⑦研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
⑧研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
⑨研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
⑩研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
⑪研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
⑫研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
⑬研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
⑭研究の実践: 問題の発見と研究テーマの設定、研究仮説・研究計画の立案、情報の収集・分析、結果の考察					240				
⑮論文の作成および提出、研究発表の準備					240				
使用テキスト: テキストは不要。必要な資料等は、自ら収集してください。				その他参考文献など: 「心理学研究」、「社会心理学研究」、「Journal of Personality and Social Psychology」等の学術雑誌					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): これまでに学んできた心理・福祉の知識と技術を総動員して、自ら問題を発見し、研究するアクティブラーニングで学びます。時間割日程に加えて完全個別指導で研究を進めていきます。安心して履修してください。									